

【ディプロマポリシー】(学位授与の方針)  
 建築・デザイン学科は、近畿大学建学の精神と教育の目的に則り、履修規定に即して必要単位を取得し、必要な修業年限を満たした上で下記の能力を備えていると判断した場合に、学士(工学)の学位を授与します。建築・デザイン学科では、自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想に根ざした高いコミュニケーション力と、自ら課題を発見し解決策を見出し能力を持った「フロンティア人材」となる建築技術者やデザイナーを世に送り出すことを教育目標としており、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1 関心・意欲・態度  
 1)文理協働の発想を志向し、価値観や文化の多様性を認め、身近な出来事から地球環境、先端技術まで、あらゆることに興味を抱き、自主調査や研究を通して自ら理解できるまで学習を続ける能力を身につけていること。  
 2)グローバル社会・デジタル化社会に対応するための基礎的な学力を修得し、社会や環境に対する問題意識を持ち、社会の一員としての責任感と技術者としての倫理観を身につけていること。

2 思考・判断  
 1)自然現象や社会現象が生じるメカニズムを正しく理解し、明晰かつ批判的に思考でき、正確な分析と総合的な判断力によって問題発見や解決・創作に利用できる能力を身につけていること。  
 2)技術者であるとともに一人の生活者としての深い市民性の意識を併せ持ち、幅広い教養教育全般にわたる有機的関わりを理解する能力を身につけていること。

3 技能・表現  
 1)講義、実験、設計、演習、実習、課題研究(卒業論文・卒業設計・卒業制作を含む)等を通じ、自らが学習・研究・活動した事柄や成果を他人に伝達できる表現能力およびコミュニケーション・スキル、プレゼンテーション力を身につけていること。  
 2)情報処理技術を活用する基礎知識及びスキル・マナーを身につけて、実験・測定・調査におけるデータ収集と統計等の処理に関する能力を身につけていること。

4 知識・理解  
 1)工学の基盤である数学や物理学の基礎知識に加え、構造力学及び建築構造、建築材料及び建築施工、建築都市環境工学及び建築設備、建築計画及び建築史・意匠、造形・表現、建築設計から成る建築・デザイン学に関する包括的な基本的知識と技術を身につけていること。  
 2)建築・デザイン学における建築構造、建築生産、建築環境・設備、建築計画・意匠分野において応用的知識と技術を身につけていること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシー対応一覧											
						1-1)	1-2)	2-1)	2-2)	3-1)	3-2)	4-1)	4-2)				
共通教養科目	現代社会と倫理	1年次後期～3年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・安楽死、脳死、出生前診断をめぐるような問題が生じているのかを知る。 ・安楽死、脳死、出生前診断をめぐる問題を考えるための基本的な知識を理解する。 ・マスメディアの情報を批判的に検討する視点をも身につける。 ・生命倫理をめぐる問題についての自分の考えを、客観的な言葉で表現することができるようにする。				◎								
共通教養科目	環境科学	1年次後期・2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・物質の構造、性質、変化について語る化学の言葉である「化学式」や「化学反応式」が描ける。 ・環境汚染の現状を理解し、環境改善のための方法が思考できる。 ・生活に必要なモノの購入、使用、廃棄、エネルギー使用に際し、環境に配慮して行動できるようにする。 ・市民として環境汚染に対して疑問を提起することができ、環境改善への取組に参加できる。			◎									
共通教養科目	建学のこころ	1年次後期	1単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・自分が学ぶ大学の建学の精神が説明できる。 ・自分が学ぶ大学の教育理念が説明できる。 ・自分が学ぶ大学の歴史と伝統を知り、その一員としての自覚と誇りを持つことができる。 ・上記のことから、自らのライフデザインに積極的に取り組めるようになる。 ・共同体の一員であるということの認識と自己の行為の倫理性が共同体に与える影響を考えられる。				◎								
共通教養科目	企業倫理と知的財産	1年次後期・2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・技術者の本質であるものづくりに倫理が強く結びついていることを認識できる。 ・企業倫理に根ざした新しい経営論理を把握できる。 ・知的財産や営業秘密の意味を理解し、それらの権利問題について解釈できる。 ・製造物責任や環境影響について理解し、技術者の考え方の中に社会や環境への配慮が必要であることを認識できる。	○			◎								
共通教養科目	現代社会と法	2年次後期・3年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	法の理念と目的、現代法の体系、法制史の概要を学び、法の意義と社会的役割について理解する。 現代社会の基礎秩序を規律する民法の規律内容とその特徴を学び、その課題を理解する。 現代基礎法との関係から社会法法の存在意義、理念および目的を理解し、労働法および社会保障法の概要を学ぶとともに、現代生活の安心と向上に資するそれらの法の在り方を考える。 20世紀的立憲主義憲法としての日本国憲法の三原則について学び、自由と民主主義の発展における立憲主義憲法の役割を理解する。 刑法の概要、および現代における行政法、経済法、国際法の発展を学ぶ。					◎							
共通教養科目	暮らしのなかの憲法	2年次前期・3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	受講者は、この授業を履修することによって、日本国憲法の性格と三原則について説明し、立憲主義の精神に基づいて論理的に考察し、国家と社会に係る問題に対して憲法判例や憲法学説を検索して客観的に判断することができるようになります。					◎							
共通教養科目	哲学と人間・社会	2年次前期・3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・論理的方法の基礎を習得する。 ・学問や知的探求全般を規定しているエトスを自覚する。 ・「すじみち」という点で、論理と倫理が親和性を持つことに気づく。 ・近代以降の倫理思想の特徴を構造的に理解する。					◎							
共通教養科目	心理と行動	1年次後期～3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・安楽死、脳死、出生前診断をめぐるような問題が生じているのかを知る。 ・安楽死、脳死、出生前診断をめぐる問題を考えるための基本的な知識を理解する。 ・マスメディアの情報を批判的に検討する視点をも身につける。 ・生命倫理をめぐる問題についての自分の考えを、客観的な言葉で表現することができるようにする。					◎							
共通教養科目	環境と社会	2年次前期・3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・身近な環境汚染と地球温暖化を中心とする地球環境問題の現状を説明できる。 ・身近な問題から地球規模まで、全ての環境問題が現在の消費型社会経済システムと結びついていることを説明できる。 ・消費型から循環型へ社会経済システムの転換に必要な考え方を、環境倫理学や環境経済学の視点から説明できる。			◎									
共通教養科目	インターンシップ	3年次後期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・導入講義および事前研修を通じて、実社会の活動状況を明確に理解する。 ・実際の職場での活動において、最低限求められる礼儀、責任、応対法を身につける。 ・実地研修のために、コミュニケーション能力や協調性のレベルアップをする。 ・就業体験を通して、自分自身の長所と短所を知る。 ・就業活動を記録し、それを報告・プレゼンテーションする。					◎							
共通教養科目	国際経済入門	1年次後期・2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・経済学を学ぶうえで必要となる、基礎的な概念を身につける。 ・経済理論と現実が起こっている事象を結びつけられるようになる。 ・日本経済の動向や社会現象について、関心を持つようになる。					◎							
共通教養科目	国際社会と日本	1年次後期・2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	①「国際社会と日本」の近・現代における歴史的関係を正しく理解し、論述できる。(なぜ、国際社会は平和でないのかを考えられる) ②「国際平和」において人権とアイデンティティの意味を理解し、その重要性を考え論述できる。(どうすれば国際社会が、日本も含め平和に近づくことができるのかを考えられる) ③ 日本の外交政策について「人間の安全保障」という視点で論述できる。					◎							
共通教養科目	国際化と異文化理解	1年次後期・2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・文化とは何かについて説明できる。 ・日欧における「身体観・死生観」について、その相違を説明できる。 ・差異性をコンフリクトではなく、協調性への手段として説明できる。					◎							
共通教養科目	地域社会と情報	1年次後期・2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・地域社会が抱える問題を認識できる。 ・問題解決のための、人的・組織的ネットワークの必要性に気づくことができる。 ・地域課題の解決に活用できる情報技術・情報システムの基礎知識がある。 ・共通した問題解決へ向けて、協働して取り組むことができる。	○			◎								
共通教養科目	地域社会と電気技術	1年次後期・2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・受講学生が、地域社会における電気技術の現状や問題点を説明できる能力を修得する。 ・受講学生が、発電システムの知識を修得する。 ・受講学生が、送配電システムの知識を修得する。 ・受講学生が、将来のエネルギーミックスや電力システムについて意見を述べる能力を修得する。 ・受講学生が、地域社会に根付いている代表的な電力技術の知識を修得する。	○			◎								
共通教養科目	日本史概論	1年次後期～3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・我が国の近代・現代の政治の推移について、その大要を説明することができる。 ・戦前と戦後の政治や社会の特質について説明することができる。 ・「歴史認識問題」について、中国や韓国の人々に対して、自分なりの見解を述べるができる。					◎							
共通教養科目	日本文学論	2年次前期・3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・江戸時代の文学を通じ、当時の文化や伝統を正しく理解できる。 ・古文文法を正しく理解し、本文を解釈できる。 ・本文を、日本語の韻律に従い、正しく朗読できる。 ・江戸文学を鑑賞し、自らの言葉で、その価値を表現できる。					◎							
共通教養科目	近大ゼミ	1年次前期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	1)近畿大学の建学の精神と教育の目的を理解することができます。 2)大学で学ぶ意義や目的を、自身のキャリアと関連付けて考察することができます。	◎											
共通教養科目	ライフデザイン	1年次前期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・建築・デザインの多様な広がりや理解し、そのための基礎的な能力の向上を図ることができる。 ・コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の大切さを理解して活用できる。 ・自主的・継続的な学習習慣の大切さを理解して、4年間の学生生活を計画し取り組むことができる。 ・建築・デザイン学科のカリキュラムおよび2コースの特徴を理解して、履修計画を立案することができる。 ①人間関係能力の醸成―自他との関係を磨きその中で自分を活かす。 ②意思決定能力の醸成―最善の決定をしてその結果に対応できる。 ③キャリア設計―自らのキャリア設計を実現する能力を身につける。 ④キャリア情報検索・活用能力―自分や家庭、仕事、社会への理解を深める。 ⑤良い習慣を身につける―主体性を持ち、時間管理やビジネスマナーを身につける。					◎							
共通教養科目	情報処理 I	1年次前期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	大学の4年間は将来の自分を創る大切な時間である。その大切な時間で、何を学び、どのように行動するかは、その後の人生を大きく左右する。この授業を通じて、4年後に自立した社会人として、必要とされる人間力を身に ・インターネットのマナーやセキュリティを理解し活用できる。 ・Wordを使ってレポートなどの文書を作成できる。 ・Microsoft Office Specialist Word2013を取得する。 ・PowerPointを使って、プレゼンテーション資料を作成できる。									◎			
共通教養科目	暮らしのなかの起業入門	1年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】		○			◎								
共通教養科目	科学的問題解決法	1年次後期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・建築・デザインの多様な広がりや理解し、そのための基礎的な能力の向上を図ることができる。 ・コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の大切さを理解して活用できる。 ・自主的・継続的な学習習慣の大切さを理解して、4年間の学生生活を計画し取り組むことができる。 ・将来の専門家像(建築技術者・建築家・デザイナー)を視野に入れながら、各自の学習課題および就職計画に取り組むことができる。	◎											
共通教養科目	日本語の技法	1年次後期	1単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・言葉・言葉の意味を正確に理解し、漢字等の表記を正しく使い分けすることができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・日本語の特性を正しく理解し、使用できる。 ・敬語の基本を理解し、大学生にふさわしい敬語を正しく使い分けすることができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。				◎								
共通教養科目	情報処理 II	1年次後期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・Excelを使って、数値データを処理し、表やグラフで表現できる。 ・Excelを使って、データ処理に必要な計算式を立て適切な関数を利用できる。 ・Microsoft Office Specialist Excel2013を取得する。 ・Microsoft Office Specialist PowerPoint2013を取得する。									◎			
共通教養科目	データリテラシー入門	1年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】										◎			
共通教養科目	論理的表現法 I	2年次前期	1単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・日本語の特性を正しく理解し、レポート作成にふさわしい表現を使用できる。 ・日本語の文法を理解し、大学生にふさわしい表現を正しく使用できる。 ・論理的な表現とは何かを理解し、記述・発表できる。 ・ビジネス敬語を正しく使うことができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を学修する。				◎								
共通教養科目	キャリアデザイン	2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	1)自分を肯定する～「これっていいのだ」 2)自分らしさを知る～「私の強みは○○だ」 3)社会を知る～「仕事は、大人は、面白い」 4)社会で必要となる資質を磨く～「コミュニケーションってこういうことか」 5)卒業後のイメージを具体的に描く～「10年後はこうありたい」 6)のために今から取り組むべきことを明確にする～「ここからはじめよう」 7)毎日を充実させるためのアクションを起こす～「やるなら、今」					◎							
共通教養科目	情報処理 III	2年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・コンピュータなどの情報機器の仕組みを理解し、身近な情報機器を活用できる。 ・システム開発やセキュリティの知識を身につけることができる。 ・企業活動の情報化に必要な知識を得ることができる。 ・ITパスポート試験の合格レベルのスキルを身に付ける。									◎			
共通教養科目	論理的表現法 II	2年次後期	1単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・日本語の文法を理解し、社会人として相応しい文法表現が使用できる。 ・日本語の特性を正しく理解し、公的な場面での文章の作成ができる。 ・ビジネス敬語を正しく使うことができる。 ・論理的な表現とは何かを理解し、記述・発表・討論・質疑応答ができる。 ・上記のような項目を学習し、より高度な日本語表現の応用力を学修する。					◎							
共通教養科目	就職計画	3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・就職試験の出題傾向などを予測できる。 ・漢字、熟語などの国語力、文章読解力を身につける ・基礎的な計算力、図形、図表をとおし思考力を身につける。 ・SPI試験独特の解法能力を身につける					◎							



【ディプロマ・ポリシー】(学位授与の方針)
建築・デザイン学科は、近畿大学建学の精神と教育の目的に則り、履修規定に即して必要単位を取得し、必要な修業年限を満たした上で下記の能力を備えていると判断した場合に、学士(工学)の学位を授与します。
1 関心・意欲・態度
2 思考・判断
3 技能・表現
4 知識・理解

Table with columns: 科目区分, 科目名, 開講年次, 単位, 必修選択の別, 学修・教育目標及び到達目標, and columns for the Diploma Policy (1-1) through (4-2). Rows include subjects like '食生活と健康', '空間とデザイン', '生涯スポーツ1', '健康とスポーツの科学', '視覚表現の科学', '生涯スポーツ2', and various foreign language courses (English, Japanese, French, Spanish, Chinese). The last row is '建築材料'.



【ディプロマ・ポリシー】(学位授与の方針)  
 建築・デザイン学科は、近畿大学建学の精神と教育の目的に則り、履修規定に即して必要単位を取得し、必要な修業年限を満たした上で下記の能力を備えていると判断した場合に、学士(工学)の学位を授与します。建築・デザイン学科では、自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想に根ざした高いコミュニケーション力と、自ら課題を発見し解決策を見出し能力を持った「フロンティア人材」となる建築技術者やデザイナーを世に送り出すことを教育目標としており、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1 関心・意欲・態度  
 1)文理協働の発想を志向し、価値観や文化の多様性を認め、身近な出来事から地球環境、先端技術まで、あらゆることに興味を抱き、自主調査や研究を通して自ら理解できるまで学習を続ける能力を身につけていること。  
 2)グローバル社会・デジタル化社会に対応するための基礎的な学力を修得し、社会や環境に対する問題意識を持ち、社会の一員としての責任感と技術者としての倫理観を身につけていること。

2 思考・判断  
 1)自然現象や社会現象が生じるメカニズムを正しく理解し、明晰かつ批判的に思考でき、正確な分析と総合的な判断によって問題発見や解決・創作に利用できる能力を身につけていること。  
 2)技術者であるとともに一人の生活者としての深い市民性や教養教育全般にわたる諸学問の有機的関りを理解する能力を身につけていること。

3 技能・表現  
 1)講義、実験、設計、演習、実習、課題研究(卒業論文・卒業設計・卒業制作を含む)等を通じ、自らが学習・研究・活動した事柄や成果を他人に伝達できる表現能力およびコミュニケーション・スキル、プレゼンテーション力を身につけていること。  
 2)情報処理技術を活用する基礎知識及びスキル・マナーを身につけて、実験・測定・調査におけるデータ収集と統計等の処理に関する能力を身につけていること。

4 知識・理解  
 1)工学の基礎である数学や物理学の基礎知識に加え、構造力学及び建築構造、建築材料及び建築施工、建築都市環境工学及び建築設備、建築計画及び建築史・意匠、造形・表現、建築設計から成る建築・デザイン学に関する包括的な基本的知識と技術を身につけていること。  
 2)建築・デザイン学における建築構造、建築生産、建築環境・設備、建築計画・意匠分野において応用的知識と技術を身につけていること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシー対応一覧								
						1-1)	1-2)	2-1)	2-2)	3-1)	3-2)	4-1)	4-2)	
専門科目	施工法Ⅰ	2年次前期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・施工計画に関する知識を習得する。 ・仮設工事に関する知識を習得する。 ・土工事、地業工事に関する知識を習得する。 ・鉄筋コンクリート工事に関する知識を習得する。 ・鉄骨工事に関して、部材の接合法や建方、耐火被覆工法などに関する知識を修得する。 ・外装工事の種類や施工法に関する知識を修得する。 ・内装工事の種類や施工法に関する知識を修得する。 ・安全・衛生に配慮した材料の選定・工法について理解する。		○						◎	
専門科目	施工法Ⅱ	2年次後期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・施工管理実務の内容を理解する。 ・建築工事のマネージメントに必要な知識を習得し、実務を経験する。 ・建築技術者としての義務及び社会に対する責任を自覚する。		○							◎
専門科目	施工管理及び演習	3年次前期	3単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・建築分野における環境工学とはどういうことかを理解し、説明できる。 ・建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。 ・建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。	○							◎	
専門科目	環境概論	2年次前期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。 ・建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。 ・建築環境設計に関わる演習を行うことにより応用能力を養い、環境工学的視点からの計画ができる。 ・建築技術者として、環境問題に対してどのように関わるべきかを理解し、説明できる。	○							◎	
専門科目	建築と環境	2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・都市環境、地域環境とはどういうことかを理解し、説明できる。 ・現在の都市(地球)環境問題を理解し、説明できる。 ・環境問題に対して、建築技術者として如何に取り組むべきか思考し、問題解決策が提案できる。 ・都市と環境関連の事項について文献調査を行うことにより、自己学習能力を形成することができる。		○							◎
専門科目	都市と環境	3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・建築技術者として地球環境保護の必要性とそのための役割について理解し、説明できる。 ・建築設備の全体像と役割、基本的知識を理解し、説明できる。 ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的な技術手法を理解し、説明できる。		○						◎	
専門科目	建築設備の基礎	2年次後期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・建築設備の計画手法と設計手法を理解し、説明できる。 ・建物の快適室内環境を実現するための応用技術を理解し、説明できる。		○							◎
専門科目	建築設備の計画	3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・建築設備設計図の基本的事項を理解し、説明できる。 ・建築設備と建築躯体との関連、納まりについて理解し、説明できる。 ・機器容量、設備容量の計算ができる。 ・設備設計図を作成することにより、意図している建築設備内容を表現することができる。									◎
専門科目	設備設計及び演習	3年次後期	3単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・世界のヴァンキュラーな住居建築を探り、その独特な構造と意匠を記述できる。 ・環境・建築・空間・道具に関わる人間中心の環境デザインを記述できる。 ・ユニバーサルデザインの思想を記述できる。 ・景観の保全と再生のデザインを記述できる。		○						◎	
専門科目	環境とデザイン	1年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・様々な住宅タイプを学んで、住まいのあり方は多様であることを理解できる。 ・住宅タイプそれぞれの成立背景を知ることで、広い視野で住まいを観る力を得る。 ・同時に、今後の住まいのあるべき姿を考え、構想する力と問題意識を身につける。		○							◎
専門科目	住まいの計画	2年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・建築計画の方法とプロセス、およびその対象と各種施設タイプを理解できる。 ・各種施設タイプにおける独自および共通の計画理念と計画手法を理解できる ・生活・社会・経済・技術・芸術など様々な条件と建築計画の関係を理解できる ・建築空間の具体化の指針となる概念(モデル)について理解できる		○							◎
専門科目	地域施設の計画	2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・空間を造形するための基本的な知識を習得する。 ・他領域の出来事と空間デザインを関係づけるスタンスを理解する。		○							◎
専門科目	空間造形	3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・建築空間における人間の生理的対応が理解される。 ・建築空間における知覚と行動が理解される。 ・各種建築の機能複合や配置方式を理解できる。 ・各種建築の規模や立地を決定できる。 ・各種建築空間の有効活用を理解できる。		○							◎
専門科目	建築計画	3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・日本の都市計画の役割、基本的理念、内容について理解できる。 ・建築、道路、緑地について存在の意味と都市計画の対象としての課題を理解できる。 ・近隣、地区、都市のそれぞれのレベルでの約束(法)や事業の意義を理解できる。 ・都市調査によって課題を整理し、その結果を表現する能力を身につける。 ・市街地の整備計画を立案し、図面上に計画を表現する能力を身につける。		○							◎
専門科目	都市計画	3年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・近代から現代に至るまでの建築デザインの概略について知る。 ・社会背景と建築デザインの関係について理解する。						○			◎
専門科目	近現代建築論	1年次後期	2単位	【建築工学コース:選択必修科目】 【建築・デザインコース:選択必修科目】	・立体造形を計画し、三面図で表現し、制作できる。 ・遠近法を理解し、鉛筆によるスケッチができる。 ・色彩計画と表現ができる。						○	○		◎
専門科目	基礎造形	1年次前期	3単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・素材の特性を活かして形を発想できる。 ・様々な制約ときちんと向き合い制作できる。 ・制作物を図面などのドローイングを使用してプレゼンテーションできる。		○					○		◎
専門科目	造形演習	1年次後期	3単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・企画立案の重要性を正しく認識することができる。 ・カタログデータの解析などの市場調査を行うことができる。 ・イメージスケールマップを作成して市場調査を行うことができる。 ・製品のデザイン・開発に関わる企画書を作成することができる ・市場調査に基づくデザイン・開発を行うことができる		○				○			◎
専門科目	デザイン企画論	2年次後期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・家具類の設計・デザインに関する基礎知識や制作技術の内容を理解できる。 ・家具類の評価基準を保持でき、それらを具体的な設計に反映させることができる。 ・調査を通じて椅子の構造・機能を具体的に検証し、最適なデザインを志向できる。 ・標準化の社会的意義を理解し、設計において標準化を志向することができる。						○			◎
専門科目	インテリアデザイン論	3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・インテリアデザインに関わる設計・制作の方法を修得する。 ・ユニバーサルデザインの考え方を理解し、設計・制作に活用できる。 ・企画から設計・制作までを一貫して行うことができる。 ・設計・制作の学修と成果を、的確に表現できるプレゼンテーション能力を身に付ける。						○			◎
専門科目	インテリアデザイン演習	3年次後期	3単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・ベクタグラフィックス系ソフトウェアの基本を理解し、自由に使用することができる。 ・目的に応じた画像の表現方法を試行錯誤し、自ら見つけ出すことができる。 ・制作した作品の内容や意図をプレゼンテーションすることができる。						○	○		
専門科目	画像設計演習	2年次後期	3単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・視覚表現の基礎知識を実践的に応用することができる。 ・静止画、動画、インタラクティブ表現に必要な基本技術を身に付ける。 ・作品としてまとめることができる。								○	◎
専門科目	視覚表現演習	3年次前期	3単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・アルゴリズムック・デザインについて基本を理解し、記述できる。 ・様々なメディアでの表現に必要な基本事項を理解し、記述できる。								○	◎
専門科目	建築メディア論	3年次後期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・感性を定量的に捉えることができる。 ・感性による表現を可視化することができる。		○				◎			
専門科目	感性とデザイン	2年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・生活道具の機能・素材・形態を原寸で思考することができる。 ・視点変更に伴う価値発見により愛着が生まれることを理解し、リデザインのきっかけを発見する力を習得する		○					◎		
専門科目	リアルサイズデザイン	2年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・色彩検定2・3級と同等レベルの知識を習得する。 ・カラーコーディネーター検定と同等レベルの知識を習得する。						○			◎
専門科目	色彩検定講座	2年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・図(＝ダイアグラム)を通して与件を理解しデザインを思考することができる。 ・3次元のデザインを2次元の図で思考することの特徴を理解できる。 ・図からもたらされる想定外の発見をデザインに活かすスキルを習得する		○							◎
専門科目	図とデザイン	2年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・都市空間を理解しデザインの契機を発見する視点を獲得する。 ・デザインをとおして意図を伝達する力を習得する。								○	◎
専門科目	プレゼンテーション演習	3年次前期	3単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・材料等の与えられた制約条件を理解して、合理的な解決案を導き出せる。 ・自らのイメージをスケッチ・模型で具体的に表現できる。 ・図学および製図の基礎を習得し、自らのデザインを図面で具体的に表現できる。 ・自分の作品を他人にわかりやすく説明できる。 ・建築空間表現のための基礎的な能力を修得する。 ・建築空間の構想から設計までの問題発見と、スケッチ、図面、模型などの基礎的表現法を身に付ける。 ・自らの構想を表現手法をとおして展開していく基礎的な能力を修得する。		○				◎			○
専門科目	建築・デザイン演習Ⅰ	1年次前期	3単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・「みせる図面」と「つくる図面」の表現と基本的な製図法が理解できる。 ・対象となる建築物の設計に関する情報を収集・分析できる。 ・与えられた条件を理解して、計画課題と設計条件を設定できる。 ・コンセプトを立案して基本的な空間を構成し、建築物として形態決定ができる ・具体化された建築物を他者に伝達できる確かな図面として表現できる。							○		◎
専門科目	建築設計Ⅰ	2年次前期	3単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・基本的な建築設計プロセス(情報収集・計画課題と設計条件の設定・コンセプトの立案・形態決定・図面作成)を理解して、独自に遂行することができる。 ・他者と協調してグループワークを行うことができる。 ・自分自身や他者が作成した図面・模型の整合性が照合でき、また評価できる。 ・図面・模型等と共にプレゼンテーション(高度な表現や説明)することができる。								○	◎
専門科目	建築設計Ⅱ	2年次後期	3単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・中規模用途の建築をデザインし建築構造ならびに建築設備等の技術的検討を加えることができる。 ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。 ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。 ・設計された案を適正にプレゼンテーションすることができる。								○	◎
専門科目	建築設計Ⅲ	3年次前期	3単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・大規模用途の建築のデザインを行い技術的検討を加えることができる。 ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。 ・コンセプトの立案と設計への適用ができる。 ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。 ・設計のプレゼンテーションを行うことができる。								○	◎
専門科目	建築設計Ⅳ	3年次後期	3単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・2次元汎用CADソフト「Jw-cad」を活用する能力を習得する。 ・図面、パースなど基礎的な表現技術を身に付ける。 ・3次元空間を図面などのドローイングで表現しプレゼンテーションする能力を修得する。								○	◎
専門科目	CADトレーニング	2年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・鉄筋や鉄骨コンクリートなど建築構造の試験法を習得する。 ・コンクリートや木材など建築材料の性質を理解し、説明できる。 ・熱、光、空気、音など建築環境の性質を理解し、説明できる。 ・測定した結果を分析し適切に評価してレポートとしてまとめることができる。		○			○	○			◎
専門科目	建築工学実験	2年次後期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:選択科目】	・建築法規体系の概略およびその理念を理解して、建築士(建築技術士)としての使命感と倫理観を養う ・実例(建築技術の実務内容)と法文を通じて、建築の単体規定と集団規定を理解できる ・建築関係法令集を検索・引用して、基本的な建築士資格試験の問題を解ける							◎		○
専門科目	建築法規	3年次後期	2単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・建築技術者としての使命感と倫理観を身につける。 ・包括的な建築教育の領域および特定領域の高度な専門教育の領域を理解できる。		◎							○
専門科目	建築技術者倫理	3年次前期	2単位	【建築工学コース:選択科目】 【建築・デザインコース:選択科目】			◎							○

【ディプロマポリシー】(学位授与の方針)  
 建築・デザイン学科は、近畿大学建学の精神と教育の目的に則り、履修規定に即して必要単位を取得し、必要な修業年限を満たした上で下記の能力を備えていると判断した場合に、学士(工学)の学位を授与します。建築・デザイン学科では、自然・技術・人文・社会が調和する文理協働の発想に根ざした高いコミュニケーション力と、自ら課題を発見し解決策を見出し、いく能力を持った「フロンティア人材」となる建築技術者やデザイナーを世に送り出すことを教育目標としており、厳格な成績評価により教育カリキュラムを運営しています。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1 関心・意欲・態度  
 1) 文理協働の発想を志向し、価値観や文化の多様性を認め、身近な出来事から地球環境、先端技術まで、あらゆることに興味を抱き、自主調査や研究を通して自ら理解できるまで学習を続ける能力を身につけていること。  
 2) グローバル社会・デジタル化社会に対応するための基礎的な学力を修得し、社会や環境に対する問題意識を持ち、社会の一員としての責任感と技術者としての倫理観を身につけていること。

2 思考・判断  
 1) 自然現象や社会現象が生じるメカニズムを正しく理解し、明晰かつ批判的に思考でき、正確な分析と総合的な判断によって問題発見や解決・創作に利用できる能力を身につけていること。  
 2) 技術者であるとともに一人の生活者としての深い市民性の意識を併せ持ち、幅広い教養教育全般にわたる諸学問の有機的関りを理解する能力を身につけていること。

3 技能・表現  
 1) 講義、実験、設計、演習、実習、課題研究(卒業論文・卒業設計・卒業制作を含む)等を通じ、自らが学習・研究・活動した事柄や成果を他人に伝達できる表現能力およびコミュニケーション・スキル、プレゼンテーション力を身につけていること。  
 2) 情報処理技術を活用する基礎知識及びスキル・マナーを身につけて、実験・測定・調査におけるデータ収集と統計等の処理に関する能力を身につけていること。

4 知識・理解  
 1) 工学の基盤である数学や物理学の基礎知識に加え、構造力学及び建築構造、建築材料及び建築施工、建築都市環境工学及び建築設備、建築計画及び建築史・意匠、造形・表現、建築設計から成る建築・デザイン学に関する包括的な基本的知識と技術を身につけていること。  
 2) 建築・デザイン学における建築構造、建築生産、建築環境・設備、建築計画・意匠分野において応用的知識と技術を身につけていること。

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学習・教育目標及び到達目標	ディプロマポリシー対応一覧								
						1-1)	1-2)	2-1)	2-2)	3-1)	3-2)	4-1)	4-2)	
専門科目	プロジェクト研究	3年次後期	3単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・調査、整理、考察に基づいた自分独自の意見を文章・図面・モデル等にまとめることができる。 ・自らの提案を文章や図、模型などを活用して、わかりやすく他人に説明することができる。 ・討論をすることで他人と意見交換をすることができる。	◎					○		○	
専門科目	卒業研究	4年次通年	6単位	【建築工学コース:必修科目】 【建築・デザインコース:必修科目】	・テーマの概要を把握してその特徴や独創的な点を認識し、簡潔に表現できる。 ・テーマと社会との関わりを考察し、独自の見解としてまとめ、その結果を説明できる。 ・最初から最終までの段取りを自主的に計画し、実行することができる。 ・研究の成果や作品意図について、説得力をもって主張することができる。 ・関連する資料や文献の調査・収集および整理と分析を自主的に行うことができる。	◎	○				○		○	